

小さな拠点

「里山キャンパス益子家」

プロジェクト

発表者：宇都宮大学農学部農業経済学科 西山研究室

菊池綾音、鈴木美愉、陳躍龍、本田瑞紀、田口大翔

(指導教員：西山未真)

1,農村を取り巻く課題



- 生活、生産の担い手不足
- 耕作放棄地の増加
- 空き家の増加
- 食文化の衰退
- 地域外との関わりに不慣れ
- 中途半端な田舎



農村の問題は
都会の問題の裏返し

2, 益子家のコンセプト

- ① 持続可能な里山を
実現できる場所
- ② やってみたいができる場所
- ③ 多様性が集う場所
- ④ 食と農が自分自身に
結びつけられる場所



3,活動概要

活動概要

2022年度(1年目)

2023年度(2年目)

活動概要	2022年度(1年目)	2023年度(2年目)
1.農地調査と棚田の再生	<ul style="list-style-type: none">・農地台帳分析とヒアリング、T型点検・水路、畦づくり	<ul style="list-style-type: none">・ゆうだい21の栽培(農薬・肥料不使用)・収穫祭
2.古民家改修	<ul style="list-style-type: none">・荷物だし、屋根の補修・玉石基礎、内壁の補修・下地づくり	<ul style="list-style-type: none">・下地づくり、フローリング・縁側、雨樋、外壁の補修・屋根の補修
3.竹林・山林整備	—	<ul style="list-style-type: none">・協働体制づくり・下草刈り
4.地域食堂開設のための食に関する情報収集	—	<ul style="list-style-type: none">・ローカルフードシステムの調査
5.農村地域の手仕事の掘り起こし	<ul style="list-style-type: none">・藍、綿の栽培(農薬、肥料不使用)・綿繰り機の自動化・マルシェ出店	<ul style="list-style-type: none">・藍、綿の栽培(農薬、肥料不使用)・マルシェ出店

4,進捗状況

～棚田の再生～

- ・ 長年耕作放棄地だった農地2.5aを再生
- ・ 宇都宮大学が開発した品種：ゆうだい21



4,進捗状況

～棚田の再生～

- ・ 農薬、肥料不使用での栽培
- ・ 手作りの除草機で田植えの2・4週間後に除草
- ・ 稲刈りには約30名が参加



4,進捗状況

～改修～

2023年4月～現在



4,進捗状況

～綿・藍～

2023年4月～現在



4,進捗状況

～地域の方との交流～ 2023年5月28日実施

- ・大平環境保全会の花壇整備
- ・益子家お披露目会
(地域住民の方15名、里山循環ネットワークの方9名)

◆大平環境保全会の方

「昔はここでたばこを売っていて、買いに来ていたよ」
「ここに親戚が住んでいて、遊びに来ていたな」

◆里山循環ネットワーク

「たくさんの可能性がありそう、是非一緒に探っていきたい」
「楽しく地域を明るくするような繋がりになれば嬉しい」



4,進捗状況

～竹林整備に向けて～

花瓶、コップ、流しそうめん



5,その他

- ・日本農業新聞からの取材、SNSでの情報発信
- 昨年度よりも活動が浸透・様々な反響



6, 今後の予定 2023年度

項目	11月	12月	1月	2月	3月
棚田の再生	● ◆収穫祭	●棚田オーナー制のプログラム考案、募集			
古民家の改修	●	●縁側、外壁、雨樋、屋根の改修			
竹林・山林整備	● ◆	◆下草刈り		●協働体制づくり	
宣伝・仲間づくり	●→	●マルシェ(茂木町)への出店、顧客名簿づくり、Tシャツ販売		ソーシャルビジネス化に向けて	
地域調査		●		●ローカルフードシステムの調査	



今年度も引き続き頑張ります！！
ご清聴ありがとうございました。

